

科教協東京支部

2017年度

冬の研究集会

小・中・高を見通した教育課程づくり

「大地のつくり」「変動する大地」の学習

〈小6「私たちの住む土地」の授業を視聴しながら〉

2月12日（月）振替休日

9:30~17:00 受付 9:15

エデュカス東京（地下会議室）

資料代：1000円（学生500円）

科教協東京支部の冬の研究集会では、毎年「小・中・高を見通した教育課程づくり」をテーマとして、分野を絞って掘り下げた議論をしています。今年度は「地学」の特に地質分野に焦点を当てて議論します。

午前中は、9月の支部運営委員会での指導案の議論と、10月のフィールドワークとを経て行われた小幡さんの授業の録画を視聴しながら、授業検討を行います。

午後は小・中・高の実践を基に、それぞれの校種で「なに」を「どこまで」学ぶのかを議論します。



09:30~09:40 開会・主題設定の理由 山崎慶太さん

09:40~12:00 小6「私たちの住む土地」の授業をおこなって 小幡 勝さん

実際の授業の録画 DVD を視聴しながら検討します

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~13:50 小学校における「大地のつくり」の学習 小幡 勝さん

13:50~14:40 中学校における「変動する大地」の学習 山崎慶太さん

14:40~14:50 休憩

14:50~15:40 高校「地学基礎」における「地球科学」 掃部条二さん

15:40~16:40 総括討論

16:40~16:50 事務連絡・閉会

01 授業検討

「私たちの住む土地」

授業者：小幡 勝さん
南多摩理科サークル

運営委員会による指導案の検討とフィールドワークを経て行った小学校の授業の様子を視聴して、授業の検討を行います。

02 小学校における

「大地のつくり」の学習

提案者：小幡 勝さん
南多摩理科サークル

子どもたちが住む身近な地形や地層がどのようにつくりだされてきたのかを、少しでもとらえられるようにした授業を提案します。

03 中学校における

「変動する大地」の学習

提案者：山崎 慶太さん
地学教育研究サークル

大地は流水による平坦化と、地球内部からの凹凸をつけるはたらきの相互作用によって変動を続けていることを理解させる授業を提案します。

04 高校地学基礎における

「地球科学」の学習

提案者：掃部 条二さん
地学教育研究サークル

地球物理学の発展で地球を複雑系かつ不可逆的なシステムとして一貫して説明できるようになった。この地球史に沿った授業を提案します。

連絡先

町田智朗（科学教育研究協議会 東京支部事務局長）

machitomo@mac.com

Tel. 042-471-2510（都立東久留米総合高校）